

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表：平成 31年 1月 日

事業所名： 発達療育 レンテ市川第二 保護者等数（児童数）13名 回収数 11 割合 85%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	0	0	0	活動内容や人数に応じて適切に確保されている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1	0	1	・他事業所と比べると専門性は高いが、もっと高めてほしい ・専門性にムラがあると思う ・どの位の頻度で研修を受けているのか、学会発表の内容、所属学会も知りたい
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	2	0	0	活動内容に応じ、その都度整備されている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	0	0	0	・いつもきれいにされている ・トイレに子ども用の補助便座やお尻拭きが置いてあり、安心
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	10	1	0	0	・半年に一度の更新なのでじっくりしすぎて具体的にわかりづらい ・毎回、細かく耳を傾けてくれている ・保護者の意見や質問にも都度対応した上で作成されている
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	1	0	2	具体的でわかりやすく明確な内容で設定されている
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	0	0	0	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	10	1	0	0	・詳細な内容は、書面を受け取っていないので、よくわからない ・成長に応じ、変更されている
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	7	0	・事業所としては交流がないが、スーパーバイザーのすすめにより、幼稚園に通い、交流はできている ・幼稚園に通園中のため、園の行事を優先させている
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1	0	1	
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	10	1	0	0	説明は受けているが、細かいところまでは質問しない限りわかりにくい	

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	3	3	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとの関わりについて教えてもらってありがたい</li> <li>・困った時の対処法を都度、教えてもらっている</li> <li>・現状では、特に希望がない限り実施されていない</li> <li>・今後は実施すると聞いている(2名)</li> </ul>
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ職員が続くと近況等伝えやすいが、1カ月ぶりになると状況を説明しづらい</li> <li>・職員がきちんと話を聞いてくれる</li> <li>・幼稚園や家庭での状況を、日頃から伝えられている</li> </ul>
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談はあるが、日常指導にあたっている職員ではなく、ｽｰﾊﾟｰﾊﾞｲﾀﾞｰと話すので情報が正確に把握されていない感じを受ける</li> <li>・職員が丁寧に対応してくれるので、ｽｰﾊﾟｰﾊﾞｲﾀﾞｰになっている</li> </ul>
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	1	9	0	父母の会を行うリスクもあるかもしれないが、少し機会があるとよい
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員に話してもｽｰﾊﾟｰﾊﾞｲﾀﾞｰに確認を取ってからとなり、回答が何週間も先送りになることがある</li> <li>・すぐ相談し、回答をもらえない</li> <li>別の日に回答ではなく、その場で相談できるとよい</li> </ul>
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	1	0	1	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	1	1	4	
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11	0	0	0		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7	2	1	1	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	0	1	2	避難訓練を実施しているのを聞いたことはある。その他、具体的な活動についてはわからない。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	11	0	0	0	職員はこどもをよく理解している
	23	事業所の支援に満足しているか	9	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2～3回同じ職員の指導が続くと、前回は踏まえてという感じだが、毎回変わるとペースがつかみづらそう</li> <li>・精神的に救われている</li> <li>・社会でもっと評価されるべきだと思う</li> <li>・信頼して預けられる</li> </ul>

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。